

## 支倉常長フェロー報告書

提出日 2012年7月27日



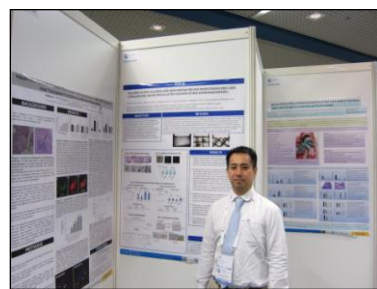
申請者	氏名	吉松 軍平
	所属・職	消化器外科学分野
出張期間	2012年7月14日 ~ 7月21日	
渡航先	ドイツ ベルリン	
渡航目的	学会参加	
発表演題名あるいは共同研究課題名	The effect of islet co-culture with bone marrow derived mesenchymal stem cells in the polyvinyl alcohol device on the outcome of islet xenotransplantation	



2012年7月15日～19日に開催された「24<sup>th</sup> International Congress of the Transplantation Society」に支倉フェローを通じて参加させていただきました。この学会は、2年に一回行われている国際学会で、現在行われている全臓器の移植医療に関わる研究が発表される大きな学会です。

得られた成果など

私自身はポスター発表で、膵島移植において深刻なドナー不足を解決する手段として、現在注目されている異種移植を可能にするためのカプセル化膵島移植の研究内容を発表してきました。分離した膵島をポリビニルアルコールでゲル化した中に封入し免疫から隔離保護するデバイスです。ただし、移植効率が悪いという欠点があり、これを解決するために間葉系幹細胞を添加したというもので、現時点での研究経過報告として発表しました。ポスター発表でしたので、直接の質問などはありませんでしたが、同じカプセル化膵島移植を異なるデバイスで研究している先生を見つけ、カプセル化膵島移植における克服すべき点など discussion できて、多くのアイデアを得ることができました。



また、大型動物モデルを利用した異種移植の研究や、欧米を中心に実際に臨床で行われている膵島移植の事情など最新の知見についても聞くことができ大変勉強になりました。このような機会を与えていただいたことにとても感謝しております。

※ 帰国後 10 日以内に報告書を提出してください。HP に掲載することがあります。

※ 可能であれば顔写真、学会風景写真を添付してください。